

狭山が発祥の地

童句

入選(第11回童句まつり)

花冷えや うす桃色の 水菜

渡川 誠

つなぐ手の 不安隠せぬ

糸賀 陽子

勉強を やろうやろうと

卒業す 高田 貞子

ベランダが プラネタリウム

藤井 紀久子

一輪車 乗れてニッコリ

汗光る 清水 ミヤ子

※童句は、土家由岐雄氏が創始し、全国に広がりました。大人が童心に戻って子どもの生活や感情を詠う俳句のことです。今月は、5月5日(こどもの日)に智光山公園で行われた童句まつりに、全国から寄せられた作品の中から選ばれた入選10句のうち5句を掲載します

AET CORNER



Joseph Robert Tait(AET)

Well golly gosh hasn't a year flown by!
Now is a good time to thank a few people who have made my transistion from a Polynesian to a Japanese way of life a little easier. THANK YOU—

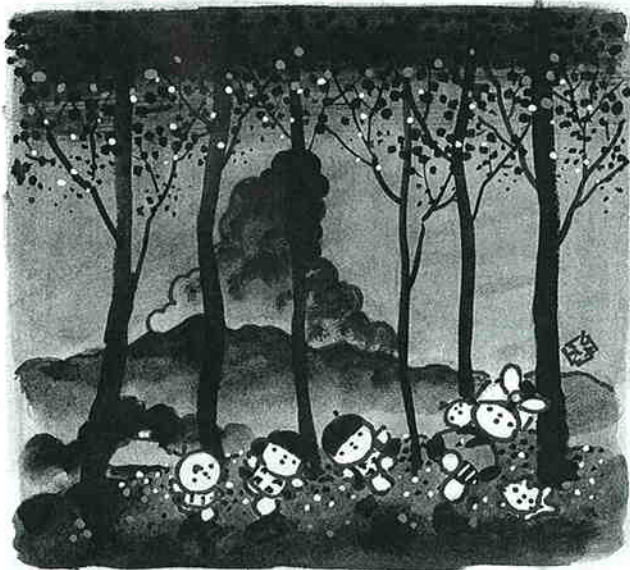
To the Sakuma family, who I met the first week of my stay in Japan. To the staff at Kashiwabara who have endured my strange sense of humour over the past year. In times of troubled waters they have shown nothing but kindness and patience. To the students at Kashiwabara who have made teaching a real joy. To the staff at the Sayama Shiyakusho, who chose me for Sayama in the first place, and who have accepted me for another year. My time at Kashiwabara Junior High School is at an end. The King is Dead, Long Live the King!



池原 昭治の

さやまのふん本

28



狭山のお天気のことわざ

昔から入間川(狭山市)の天神さまが晴れたときは、北野天神さま(所沢市)は、かならず雨が降るといふ俚諺があります。

〽大山さきから雲がでた、あの雲がかかれば雨か嵐か、という棒打唄があります。これは、夏の夕立のころ「秩父のから鳴り、大山さきから出れば雨が降る」ということです。

秩父連峰からでる黒雲は雨は降らないが、大山(神奈川県)の方からでるとひと雨くるといわれています。

今回は、お天気についてのいい伝えを紹介しましょう。「猫が耳のうしろから顔を洗うと雨が降る」「夏の早天(かんてん)に蟻の行列があると雨が降る」

「早天の時、青大将(か)が道を横ぎると近いうちに雨が降る」「ニワトリは、雨の降る前ほとくにうるさく鳴く」「雷が鳴ったときは、桑の葉っぱを頭にのせて『くわばら、くわばら』という雷が落ちない」「夏の朝、蜘蛛の巣が白い日は、かならず晴れる」などがあります。

この広報紙はリサイクル推進のため古紙配合率80%の再生紙を使用しています

お・茶・番・る・ま・ち



[狭山市広報]

VOL.505

◆発行日/平成9年8月10日(毎月10・25日発行)
◆編集・発行/狭山市役所企画財政部秘書広報課
〒350-13 埼玉県狭山市入間川1-23-5
TEL.0429-53-1111(内線386)
FAX.0429-54-6262(行政資料室)
テレホンガイドさやま ☎0120-460-380